

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		難病患者福祉手当				所管	福祉部	
							障害福祉課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小 柱]					[事業開始] 昭和 5 0 年度	
		[施 策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区難病患者福祉手当条例、台東区難病患者福祉手当条例施行規則			
	事業対象	申請時65歳未満で、難病医療費等助成制度の対象疾病(82疾病)に罹患している者。						
	事業目的	原因、治療法等のわからない難病患者に手当を支給し、心身の安定と福祉の向上を図る。						
	事業内容	対象者に、月額15,500円を年3回(4月、8月、12月)支給する。						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	受給者数 (人)		618	550	566	583	
	成果指標							
	決算額 (単位：千円)				98,659	102,911	106,716	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)		2,703		2,569	2,983	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)		111		116	123	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)		98,549		102,796	106,594	
		総経費		101,363		105,481	109,700	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)		0		0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)		205		60	20		
	一般財源 (区負担額)		101,158		105,421	109,680		
前年度から改善した事項		医療券の管理を行っている関係課との連携を引き続き密にして、対象者の把握に努めた。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	手当の対象となる東京都指定の82疾病に変更がないため、ニーズに大きな変化はない。難病患者の生活基盤を支援する上で必要な手当である。					
	効率性	3	金融機関の振込システムを活用するなど、効率的な事務処理に努めている。					
	手段の適切性	3	本手当を支給することにより、難病患者の生活の安定に寄与することで、事業効果を高いレベルで維持している。					
	目的達成度	4	数値に関しては、予定受給者数に到達しており、年々受給者が増加傾向にある。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
難病患者の自立を支え、在宅生活を支援する上で、事業の維持が必要である。						維持		